

# 瀋陽

## モデルコース

| 日 | 都市名      | 旅程概要  | 食事/宿泊 |   |   |
|---|----------|---|-------|---|---|
|   |          |   | 朝     | 昼 | 夕 |
| 1 | 関西<br>瀋陽 | 大阪より空路、瀋陽へ<br>着後、ホテルへ   | ×     | × | ○ |
|   |          |   | 宿泊地   |   |   |
|   |          |   | 瀋陽    |   |   |
| 2 | 瀋陽       | ホテルにて朝食後、<br>瀋陽市内観光へ<br>(瀋陽故宮、遼寧省博物館、北陵公園、<br>旧奉天駅(瀋陽駅)、旧満鉄本社 など) | ○     | ○ | ○ |
|   |          |   | 宿泊地   |   |   |
|   |          |   | 瀋陽    |   |   |
| 3 | 瀋陽<br>関西 | ホテルにて朝食後、<br>ホテルより空港へ<br>瀋陽より空路、大阪へ<br>着後、解散                      | ○     | × | × |

関西空港⇄瀋陽(桃仙空港)  
就航航空会社

・中国南方航空(CZ)  
週3便運航(火・木・土)

2010年12月現在

## みどころ

### ・瀋陽故宮

瀋陽故宮は、清朝の初代皇帝の太祖ヌルハチと2代皇帝の太宗ホンタイジにより建立された皇城です。総面積は約6万㎡で北京の「故宮」の12分の1の大きさではありますが、500以上の部屋を持つ70以上の建物が建ち並び、満州族の威厳と風格が感じられます。入口を入ってすぐの東路正面に建つ大政殿は、かつて大典が行われていた場所です。黄色の瑠璃瓦の美しい八角二層のこの建物は、漢、満、蒙の3民族の建築的な特徴を兼ね備えた傑作といわれています。



### ・北陵公園

北陵は後金の2代目、清の初代皇帝である太宗皇太極ホンタイジとその妻の孝文端皇后のお墓です。敷地面積330万㎡。北陵は瀋陽の中心部から北にあることからつけられた通称で、正式名称は昭陵といえます。陵墓、建築物などは現在でも良好な状態を残し、清朝初期の技術・建築文化の一端を知ることができます。2004年に世界文化遺産の明・清王朝の皇帝墓群の一部として追加登録されました。規模は清の関外三陵(他の二陵は東陵と永陵)のうちで最大規模で周囲は瀋陽で1番大きな公園「北陵公園」となっています。



### ・遼寧省博物館

前身は1949年オープン「新中国第一の館」と言われた東北博物館で、2004年に新館が完成しオープンしました。その外観は収蔵品の「紅山文化玉猪竜」のユニークな造形にもとづいて建てられています。この博物館には約11万2000点の収蔵品があり、考古学資料、書面、彫刻、陶磁器、刺繍、銅器、貨幣、古生物、少数民族の文物、甲骨、碑文など17種類の文物があり、そのうち最も特色と影響力のあるのは歴代の書画、刺繍、東北地区の出土文物の逸品および遼寧磁器、貨幣、碑刻、古代地図 などです。



### ・旧奉天駅(瀋陽駅)

瀋陽駅は、1899年に東清鉄道南満州支線の謀志敦駅として開業し、1904年に奉天駅に改名しました。1906年に南満州鉄道(満鉄)の駅となり、1910年10月1日に太田毅の設計により赤煉瓦造りの新駅舎が建設されました。瀋陽駅の設計者である太田毅は、東京駅の設計者である辰野金吾の弟子であり、建築様式は辰野式と呼ばれています。その為、東京駅と瀋陽駅は外観や雰囲気似ています。1950年に瀋陽駅に改名し定着しました。

